

# 北成病院季刊広報誌

# ほくせい

医療法人社団 延山会  
**北成病院**  
 広報編集委員会

〒001-0933  
 札幌市北区新川西 3 条 2 丁目 10-1  
 TEL 011-764-3021  
 FAX 011-764-4331

春号

## 理事長ご挨拶



河 口 義 憲

先日、四年に一度の日本医学界総会が大分で開かれました。そこでの特別シンポジウムで今日の医学教育、医療制度に関する討論があり、二万七千人からの事前のアンケート結果が公表されました。その中で、「日本の医療について満足していますか？」の問いに、六〇数%の方が何らかの不満を抱いているという結果でした。

世界に誇れる国民皆保険を持ち、今や世界一の長寿国となった日本ですが、財政難を理由に国は更に医療制度を大きく変えようとしています。

来年から七十五歳以上のご高齢者には、後期高齢者医療制度がスタートいたします。社会的入院を減らすとのかけ声で、療養ベッドの大幅な削減や介護病棟の廃止が予定され、ご高齢者やご家族には種々の負担も増え、「医療難民」の言葉にもあるように厳しい時代がやってまいります。

医療従事者側も多くの制約のなかで更に厳しい努力を強いられ、きつい仕事から離れる医師が増加し、「医療崩壊」と言われるように、病院勤務医の減少、産科、小児科、麻酔科等の医師数の減少で、

病院が成り立たないという事態が地方で起きている事をご存知の通りです。医療法人延山会は、開設以来四半世紀以上にわたり、患者様に良質の医療を提供して参りました。時代の激しい変換に対応するため、初代で開設者の岩本理事長から、昨年私がバトンタッチ致しました。

壊れた物は必ず再生して参ります。どのような形で日本の「医療再生」がなされても、医療法人延山会は、最新で最善の医療を、今後も患者様の立場に立って、責任を持って提供してゆく所存でございます。

病気の治療ばかりでなく、メタボリックシンドロームでの生活習慣の改善の様に、病気を予防して長く健康年齢を保てるように、お力添えをしたいと思います。永くご利用して頂ける事をお願い申し上げます。

理事長ご挨拶	一頁
狭心症について	二頁
部署紹介(栄養給食部)	二頁
シリーズ健康診断①	三頁
栄養マメ知識	四頁
お知らせ	四頁

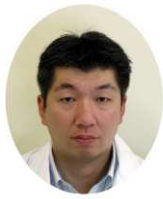
## 理 念

日々研鑽を積み、全人的対応をもって、良質な医療を提供し、組織一体となって地域社会に貢献することを目指します。

## 基 本 方 針

1. 私たちは、医療人としての自覚を常にもち、切磋琢磨してチーム医療を実践します。
2. 私たちは、急性期から慢性期まで、患者様の立場に立ち、真心こめた医療サービスを提供します。
3. 私たちは、患者様の権利と安全を重視し、地域の皆様から信頼される病院づくりを目指します。
4. 私たちは、経営の健全性を高め、安定した病院経営を続けられるよう努力します。

## 狭心症について



心臓は酸素や栄養を含んだ血液を全身に循環させるポンプの働きをしており、一日約 10 万回拍動しています。心臓がポンプとして働くために、心臓自身に血液を供給する血管を冠動脈（冠状動脈）といいます（心臓があたかも冠をかぶっているように、その表面を走行しているためこう呼ばれています）。狭心症は、この冠動脈の異常により一過性の心筋の虚血（血液不足）が生じ、胸痛などの症状が引き起こされる疾患です。心筋虚血が長時間に及び心筋の一部が壊死に陥ると心筋梗塞となります。

狭心症の主な症状は、狭心痛といわれる、前胸部の締め付けられるような痛みや圧迫感ですが、痛みは首、背中、左肩、上腹部にも生じることがあります。症状は通常数分で、長くても 15 分以内に消失します。

狭心症はその成因から大きく二つのタイプに分けられます。一つは、動脈硬化が進行して冠動脈に狭窄（内腔が狭くなること）が生じることによるもので、症状は重いものを持ったり、歩いたりといった体を動かしたときに生じます。もう一つは冠攣縮性狭心症といわれ、通常は冠動脈に狭窄はないものの、冠動脈が攣縮（過剰に収縮することにより血管が細くなること）をきたすことによるもので、こちらは夜中から朝方にかけての安静就寝中に起きやすいといわれています。

狭心症の診断には、発作時の心電図が大変有用です。ただ、病院を受診するのは多くは発作が消失した後なので、受診時に心電図が正常のことも珍しくはありません。そこで、携帯型の 24 時間ホルター心電図、運動負荷心電図、心筋シンチグラムなどの検査を行い心筋虚血の有無を判断します。症状の性質とあわせ狭心症が疑わしければ、冠動脈に造影剤を注入して狭窄の有無や程度を評価する冠動脈造影を行うことにより最終的に確定診断します。冠攣縮性狭心症で診断が困難な場合には、冠動脈造影の際に冠攣縮誘発試験を行うこともあります。

治療は、①薬物療法、②カテーテルによる冠動脈形成術、③バイパス手術があります。冠攣縮性狭心症は①にて治療します。冠動脈に動脈硬化による狭窄がある場合には、②や③が必要となることがありますが、それは冠動脈造影の結果（狭窄の程度、数）により判断されます。

狭心症は発作の持続時間も短く放置されることもありますが、心筋梗塞へ移行することもあり、気になる症状がある方は早めに病院を受診しましょう。（診療部長：木戸伸介）



## 部署紹介

## ～栄養給食部～

栄養給食部は管理栄養士 1 名と 2 名の栄養士他 9 名の調理スタッフで構成されています。栄養給食部の仕事は一般的には患者様の食事を作ることが想像されると思いますが、実は他にも沢山の仕事があります。まず、給食管理ですが糖尿病や腎臓病など様々な病態に合わせて献立作成をします。そして食品業者への発注、検品、専門の調理師による調理、実際患者さまの口に届くまで料理の出来栄までを五感を働かせ作業します。また衛生管理マニュアルを使用し職員の健康管理はもちろん、衛生的で安全な料理を患者様におとどけします。

栄養管理は入院時、治療食に影響のない範囲で個別対応し低栄養にならないよう個々に相談に応じ、患者様個人の栄養状態の評価や栄養の必要量・喫食量などの情報を元に低栄養状態にならないよう検討し対応しています。又、**栄養相談、栄養指導、指導食**を通じ退院後も健康管理のため、食事療法を継続するための方法を患者様とご家族と共に考え、患者様個々に合わせた栄養についての情報を提供し、退院後も自己管理ができるようお手伝いしています。また必要に応じて訪問栄養指導の実施もしております。ぜひご利用ください。



（管理栄養士：鳥羽充代）

# シリーズ ”健康診断①”



当院では、さまざまな健康診断を行っております。今回は健康診断について知っていただく為、種類や内容を少し説明させていただきます。

昨年度はすこやか健診 257 名、企業定期健診・人間ドック 2,169 名の方が受けられました。うち『政府管掌生活習慣病予防健診』受診者 725 名中、49%の方で脂質異常（コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロールの異常）、尿 37%、血圧 28%、以下 26%の方で肝機能異常が見られます。

胃 20%、血糖 19%、心臓 6.6%、便（大腸がん検診）6%、肺 2.8%と高頻度で異常が見つかっています。そのうち 8 割近くは、服薬などの治療はまだ必要でなく、食事・運動といった生活習慣の改善を心がけての経過観察といった判定ですが、今日では種々の疾患予備軍を服薬治療が必要な状態まで放置せず、生活習慣に注意することで改善されるレベルでの早期対応が重要とされており、健診の重要性が今まで以上に叫ばれています。

## (1) 健診と検診

健康診断（健診）とは、診察および各種の検査で健康状態を評価することで健康の維持や疾患の予防・早期発見に役立てるものです。特定の疾患の発見を目的としたものは検診（結核検診、胃癌検診など）と呼ばれます。また全身的に多種の疾患の早期発見を目的とし詳細な検査を行うものは、船舶のオーバーホール施設になぞらえて人間ドックと呼ばれます。

## (2) 一般定期健康診断

労働安全衛生法により、事業主は従業員のために毎年職場健診を受けさせることが義務づけられていますので、会社勤務や公務員の方は毎年健診を受けていることと思います。また、自営業、主婦、お年寄りなど、職場で健康診断を受ける機会のない方に対しては札幌市ではすこやか健診を助成しています（40 歳以上の市民の方は病院窓口で年齢・住所の確認できるものを提示すればいつでも受けられます）。また、40 歳から 5 年毎の節目健診、一般健診で異常があった場合の 2 次検診にも助成があります。

## (3) すこやか健診

- ◆対象：札幌市内在住の自営業の方、主婦、お年寄りなど 40 歳以上の男女
- ◆項目：診察、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査、胸部 X 線撮影
- ◆費用：1,200 円
- ◆費用免除：老人保健法による医療受給者、70 才以上または特定の障害のある 65 才から 69 才の方（道老・老は徐く）、生活保護世帯の方、市民税非課税世帯の方
- ◆受診方法：健康保険証や運転免許証など、住所・氏名・年齢のわかるものを提示のうえ当日当院受付窓口にてお申し込みください。
- ◆注意事項：健診当日はなるべく空腹で受診してください



## (4) 胃・大腸がん検診

- ◆対象：すこやか健診と同じ
- ◆項目：（胃）診察、胃部エックス線撮影、（大腸）診察、2 日法便潜血検査
- ◆費用：（胃）1,100 円、（大腸）3,000 円
- ◆受診方法：胃部検査についてはご予約が必要ですので事前にご連絡下さい。



本シリーズ 2 回目からは、健診結果の解釈と具体的な注意点に関して解説していきます。（涉外課：鈴木 忍）



## 栄養マヌ知識 ～ ストレスへの抵抗力をつけるパントテン酸 ～

4 月になると新しい仲間との集まりの機会も多くなると思います。楽しい出来事も多くなりますが、時折人付き合いにストレスを覚えることもありますよね。

ビタミンC、ビタミンEと並んで**ストレスに対応**するためのビタミンが“**パントテン酸**”です。

パントテン酸という名前は「広くどこまでもある」という意味のギリシア語が由来。その名の通り、様々な食べ物に含まれているビタミンB群の一種です。エネルギーを生み出しストレスへの抵抗力をつけるのに欠かせない成分です。

ストレスを受けると、人の体の中では副腎が副腎皮質ホルモンをつかって血糖値を上昇させ、エネルギーを増大させることでストレスに対応しようとします。パントテン酸は副腎の働きを強化して、副腎皮質ホルモンの再生を促進することで、ストレスに対応するための体制を整えたり、ビタミンB6や葉酸同様、免疫力強化に働くほか、コレステロール

のうち善玉コレステロールを増加させる働きがあります。また自律神経伝達物質をつくるのになくってはならない成分でもあります。

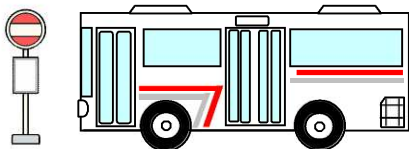
パントテン酸が不足すると抵抗力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなるほか、自律神経にかかわるため、不足すると心身にも影響を受け、怒りっぽくなるほか、胃が弱る、手足がしびれるなど様々な部位に症状があらわれます。

パントテン酸を多く含む食品は、鶏・豚・牛のレバー、にじます、たらこといった魚類、納豆、アボガド、モロヘイヤ、干しいたけ、卵など様々な食べ物に多く含まれます。抗ストレス作用、免疫機能向上作用があること、ストレスによって消費されやすいことから日頃から多めにとっておきたいビタミンです。熱に弱い性質があるので調理の際に**加熱しすぎない**よう注意しましょう。(管理栄養士：鳥羽充代)

### お知らせ

4 月から**中央バス『麻生～新川営業所』**間が**運行**いたします。この運行により麻生や新琴似方面からお越しの方はより便利になります。

バス路線や時刻表は正面玄関掲示板または受付窓口でお知らせいたしますのでご覧ください。



### 編集後記

4 月 1 日早朝とても細かな雪が少し降りました。まるで、わずかに残っている雪を申し訳なさそうに落としている感じでした。今年の冬は降雪が少なく良かったですね。皆様が今号を手になされている大型連休直前、温かさ、香り、植物の様子など待ちに待った本当の春を感じ、心も体も和らぎ喜んでいることでしょう。

冬の間外来受診に足が向かなかった方、お薬だけが続いている方、春です！是非先生に顔を見せて下さい。

次回夏号まで春を楽しみましょう。季節の変わり目は体調にも気をつけてくださいね。(編集委員：河崎雅子)

### 北成病院概要

- 診療科目：内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・放射線科
- 病 床：一般病床 58 床 (13 対 1 入院基本料)
- 療養病床 64 床 (療養病棟入院基本料 2)
- 介護病床 22 床 (療養型介護療養施設サービス費 (I) (ii))
- 日本医療機能評価機構認定

### ～ 患者様とご家族の権利 ～

1. 基本的人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を公平に受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか、受けないかを決定する権利
5. プライバシーを保護される権利
6. 健康であるために情報を求める権利
7. 他の医師に診断を受け、治療法についての意見 (セカンドオピニオン) を聞く権利

